

基本目標2 みんなで“学び育む” ～次代と豊かな心を育むまちづくり～						令和5年度評価シート		
施策6 学校教育			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
		達成指標個数	0	0	0	0	0	
		達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
		施策指標数	6	6	6	6	6	
		<p>環境配慮やバリアフリー化など社会的要請に適切に対応するため、小・中学校校舎の非構造部材の改修、体育館の大規模改修など計画的に実施するとともに、長寿命化計画により適切な維持管理に努め、教育施設に求められる機能・性能を維持していきます。</p> <p>コミュニティ・スクール（学校運営協働協議会）を推進し、「地域とともにある学校づくり」に努めます。</p> <p>保護者の負担軽減のために、就学援助制度や私学助成制度、小中学校児童生徒第3子以降の給食費の無償化を実施します。</p> <p>町民聴講生制度により、町民が児童・生徒とともに授業を受ける場を提供します。</p>					<p>【該当計画書】38～40ページ</p> <p>【担当課】学校教育課</p>	
施策6-1 教育環境の整備							<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○山名小学校の非構造部材耐震化改修工事及び体育館大規模改修工事を行う。 ○柏森小学校の非構造部材耐震化改修及び高雄小学校体育館大規模改修の設計を行う。 ○学校運営協働協議会を各学校で3回開催し学校と地域の連携を図る。 ○要準要保護世帯に対して就学の援助をする。私立高等学校に通学する生徒に対して授業料の補助をする。小中学校児童生徒第3子以降の給食費の無償化を実施する。 ○町民聴講生制度を実施する。 	
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
学校運営協働協議会	開催							
施策6-2 学校保健・学校給食の充実		<p>児童・生徒に対する学校保健事業及び食育推進事業を実施し、食物アレルギーを有する児童・生徒に対するきめ細やかな対応を心がけ、発育に即した安心でおいしい学校給食を提供します。</p>					<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食物アレルギー対応として、個に応じた除去食・代替食等を実施する。 ○栄養教諭を中心に食育及び地産地消の推進を図る。 	
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
「我が家の味を給食に」献立募集	継続							
施策6-3 教育内容の充実		<p>児童・生徒の資質・能力の育成に向けて、ICTを最大限活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を目指します。教員相互の研修を深め、教育の質の向上を図ります。</p> <p>総合的な学習等で、まちについて探求するカリキュラムマネジメントに努め、町の未来を考える児童・生徒を育てます。</p> <p>外国語教育、防災・防犯教育の一層の充実を図ります。</p>					<p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICT教育の推進として、GIGAスクール構想に従い、タブレットを有効に活用した授業改善を図る。 ○小学校英語科と外国語教育の充実のためALTを派遣する。 ○扶桑町防災マップを活用し、安全教育を推進する。 	
目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
ICT活用計画の目標達成アンケート	新規							

施策6-4 児童・生徒への支援の充実	<p>「こころの教育」に努め、心身ともに健全な児童・生徒の育成を目指すとともに、扶桑町いじめ防止基本方針（平成27年（2015年）1月制定）に基づき、関係する機関が連携を図り、いじめの早期発見・防止に努めます。</p> <p>不登校・いじめ・貧困等の課題については、児童・生徒のおかれた様々な環境に働きかけ、問題を抱える児童・生徒やその家庭への支援を行うため、スクールソーシャルワーカーやスクールメンタルサポーターを配置します。</p> <p>児童・生徒数の多い学校に対する養護教諭の加配や、支援が必要な児童・生徒に対しては、特別支援員・医療的ケア支援員を配置し、きめ細やかな支援に努めます。</p> <p>特別に支援が必要な児童・生徒の就学について、保育園・幼稚園との連携を図り、保護者の理解と協力を得ながら適正な教育支援の充実に努めます。</p> <p>教員がゆとりをもって、一人ひとりの子どもに向かい合い、質の高い授業や個に応じた指導ができるように、部活動の地域移行、地域学校協働活動による学校支援などに取り組みます。</p>					
	目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	こころの電話等の相談事業	継続				
	地域移行した部活動のクラブ数	増加・上昇				
学校支援ボランティアの数	増加・上昇					
主な事業 <ul style="list-style-type: none"> ○スクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、各種関係機関と連携しながら学校相談体制を整え、課題解決を図る。 ○スクールメンタルサポーターを配置し、子どものメンタルケアのための相談活動を実施する。 ○教職員の働き方改革を進め、NPO法人わっと楽しくスポーツふそうと連携をとりながら部活動の地域移行を進める。 						